努力賞

おいしい絵本の思い出

荒川区立第七中学校一年

ロイド 珠里亜

私の絵本の思い出は、おいしい思い出です。

絵本の中には、おいしそうなおやつがたくさん出てきます。

例えば「ぐりとぐら」の絵本では、野ねずみのぐりとぐらが、森の中で大きな卵を見つけます。

そしてその卵で大きなカステラを焼きます。

絵本では、フライパンいっぱい、ふんわり焼けた黄色いカステラが描かれていました。

私は、何度もその絵の黄色いカステラに鼻をつけて、甘い香りをかいでいました。

それを見た母が、ぐりとぐらのカステラを一緒

に作ってくれました。

今でもカステラが焼きあがるときの甘い香りがくと、ぐりとぐらの話を思い出します。

バムとケロのシリーズは、何度読みかえしたかわからないほど大好きな絵本です。

その中の「バムとケロのちようび」では、ゴーグルをつけて完全防備で、天井にとどくほどの山盛りドーナツを作ります。

私と妹はバムとケロをまねて、スイミングのゴーグルをつけ、マスクをし、完全防備で山盛りドーナツを作りました。

シナモンの香りをかぐたびに、この時のドーナツ作りのことを思い出します。

何度失敗してもめげずにせっせと作ったのは、「からのパンやさん」に出てくるような、変わっ

た形の楽しいパンです。

ページいっぱい描かれた様々な形のパンに、時間がたつのを忘れて見とれていました。

どれもこれも作ってみたいパンばかりでした。

実際に作り始めると、成型に夢中になってしまい、生地が乾燥してしまいました。

こうした失敗を経験しながら、レシピを変えたり、上手に作る工程を工夫することを学びました。

絵本の中のレシピを再現したいものは、たくさんあります。絵のような仕上がりになるように、自分の料理の腕をみぎたいです。